

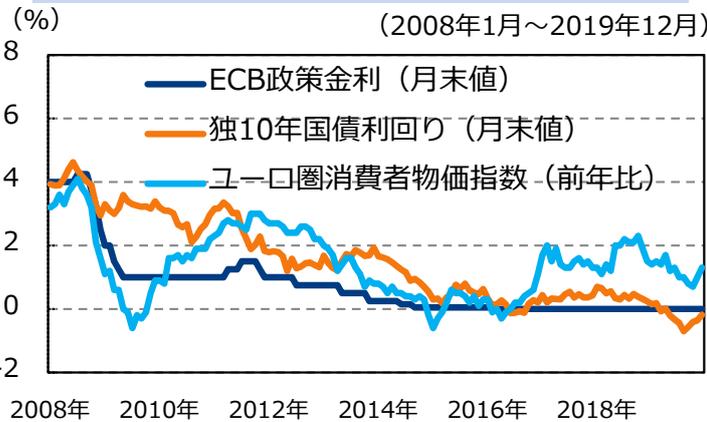
欧州マーケットビュー



■リフィニティブ（金融情報等提供会社）によれば、ストックス欧州600指数（STOXX 600）ベースの2019年最終利益は前年比で+1.0%の増益が見込まれています。海外景気の減速や政治的な不透明感などの影響から、2019年1-3月期以降の企業業績は減益が続いているものの、先進国の金融緩和と財政拡張などが下支え要因となり、2019年10-12月期以降は増益に転じる見通しとなっています。

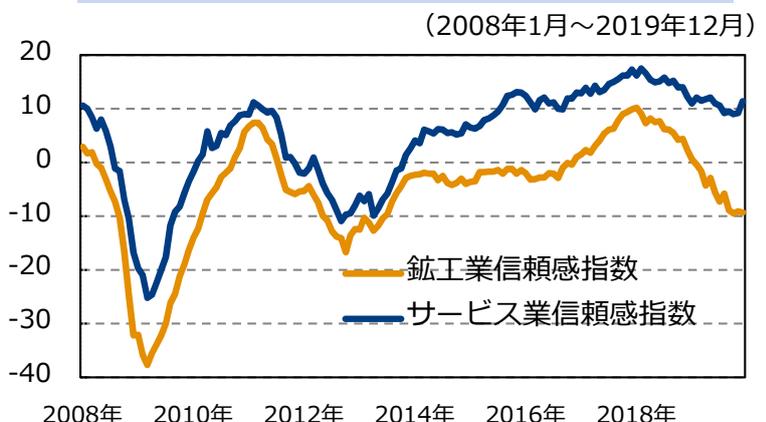
金利とインフレ率

2019年12月のユーロ圏の消費者物価指数（前年比）は+1.3%となりました。長期金利はマイナス圏での推移が続いています。



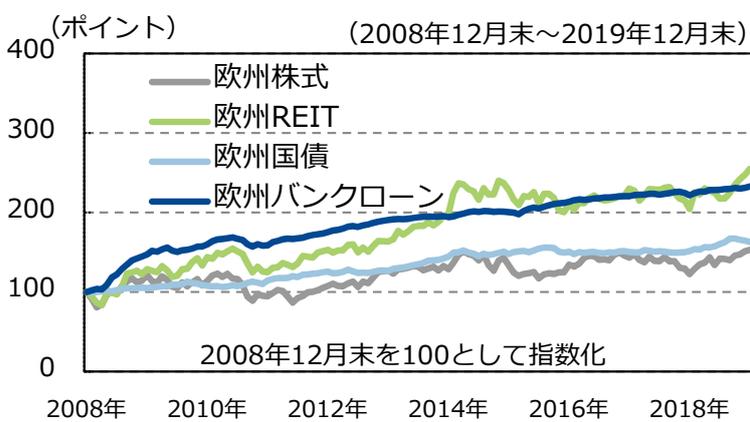
企業景況感

鉱工業信頼感指数（12月）は11カ月連続のマイナスとなりました。サービス業信頼感指数はプラス圏を維持しています。



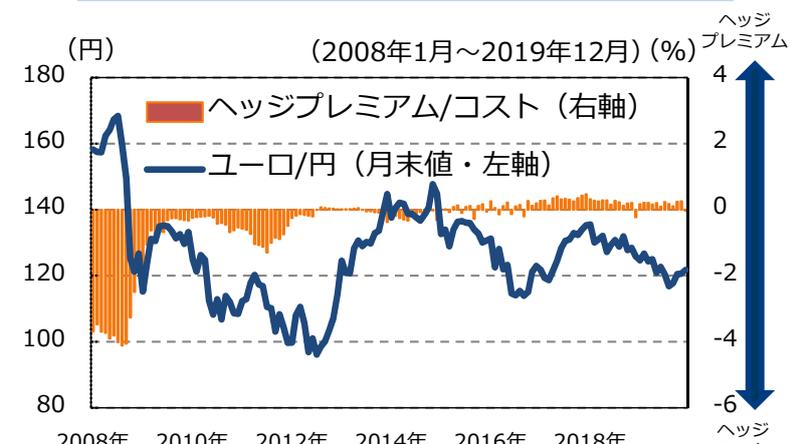
欧州各資産の推移

2008年12月末からの欧州各資産の推移をみると、欧州バンクローンの安定した推移が確認できます。



ユーロ/円およびヘッジプレミアム/コスト

年末にかけてユーロが日本円の金利より高くなったため、ユーロ/円はヘッジコストが発生しました。（2019年12月：▲0.03%）



(注)為替ヘッジプレミアム/コストは直物為替レートと期日1カ月後の為替予約レートとの価格差（月間平均値）から簡便法により算出。

(出所) 各種データを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※使用したインデックス（いずれもユーロベース）
 欧州株式：ユーロストックス50指数、欧州REIT：FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index、欧州国債：FTSE欧州国債インデックス、欧州バンクローン：クレディ・スイス・ウェスタン・ヨーロッパ・レバレッジド・ローン・インデックス

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。